

事前調査

目 次

写 真

第1章 調査の概要	63
1. 調査の背景	63
2. 調査の目的	63
3. 調査団員構成	64
4. 現地調査日程	64
5. 主要面談者	65
第2章 M/M、S/Wに係る協議結果	67
1. 本格調査概要	67
2. 本格調査実施上の留意事項	68
第3章 地場産業及び関連機関の現状	70
1. 北部州地場産業（シアバター製造）の状況	70
2. 地場産業関連ガーナ側機関の現況	70
3. 関連ドナーの動向	72
付属資料	
1. M/M（事前調査団署名）	75
2. S/W（事務所署名）	87
3. M/M（事務所署名）	93
4. 面談議事録	97

写 真



NBSSI Northern Regional Office



NBSSI Business Advisory Center in Tamale



NBSSI Greater Accra Regional Office



GRATIS in Tamale



シアバター製造機械 (GRATIS in Tamale)



シアの木



シアバター製造現場



シアバター



シアバター（出荷用）



シアバター製造女性グループを対象
としたNGOのワークショップ
(SASAKAWA AFRICA ASSOCIACION)



シアバター製造女性グループ及び支援
NGO（Christian Mothers Association）
からのヒアリング

第1章 調査の概要

1. 調査の背景

ガーナは、構造調整実施後の1985～1996年、実質成長率年率平均4.65%を記録し、サブ・サハラ・アフリカ諸国のなかの成功例と評価されてきた。しかしながら、多額の援助や国際市況の変動に左右されるカカオ、金、木材などの少数の1次産品輸出に依存する産業構造、経済構造に変化はなく、援助依存体質から脱却し、経済の自立化を達成するには国内産業の育成、生産構造の多様化及び高付加価値化を促進する必要があるといわれている。

係る状況の下、ガーナ政府は2002年2月にGRSPの最終版を完成させ、貧困削減を主要課題としつつ民間セクター育成による経済発展を重視した政策をとっており、これを進めることを目的としてわが国に対し、2004年度向け要望調査において多数の中小零細企業振興を中心とした経済開発分野プロジェクトを要請した。しかしながらガーナにおいては、経済開発分野についての協力実績に乏しく、当該分野の基礎情報収集を行い、要請案件の妥当性を判断するとともに望ましい協力内容を検討する必要があるため、2004年4月に経済開発分野要請背景調査団が派遣された。要請背景調査の調査結果の概略は以下の(1)～(2)のとおりであった。

(1) 中小零細企業振興はガーナの経済開発における主要課題であるが、これに対する公式な産業政策、あるいは中小零細企業政策は存在せず、GRSPやこれから派生するPSI、REDPなど、いくつかの関連する戦略・プログラムが政策、施策の替わりに用いられている。

(2) 多数のドナー機関が民間セクター開発分野においてガーナ政府への協力あるいは民間セクターへの直接協力等を実施しており、具体的協力内容についても政策立案からBusiness Advisory Serviceの提供まで様々な取り組みが行われている。

要請背景調査の終了後、地場産業振興に係る開発調査の正式要請を受け、同年11月にプロジェクト形成調査団を派遣し、MOTI & PSIで取り組みが始められている地場産業活性化における施策(REDP)の現状や問題点、地場産業振興に関する具体的ニーズについてのヒアリング等を行い、これを踏まえ協力内容大枠について合意に至った。

その後2005年6月に、民間セクター開発分野の援助について2004年に策定された民間セクター開発戦略(Private Sector Development Strategy: PSDS)に沿った形で今後実施する旨、主要ドナー及びガーナ政府間でM/Mの署名が行われた。PSDSは政府の民間セクターに対する過剰な直接的介入に否定的でビジネス環境の整備に重点をおいた戦略であり、本件開発調査についてもPSDSとすり合わせを図り、協力内容を再構築することが求められている。

2. 調査の目的

本事前調査はMOTI & PSIをはじめとするガーナ側関係機関・関連ドナーとの協議及び現地調査を行い、民間セクター開発に係る現時点でのガーナ政府及び関連ドナーの方針及び現場のニーズを再確認し、これらと協力内容の調整を図ったうえで

(1) 本格調査の内容・実施枠組についてガーナ側C/P機関と合意を形成すること

(2) 本格調査の内容・実施枠組の妥当性・有効性等を事前評価すること

を目的として派遣された。

3. 調査団員構成

No.	氏名	担当	所属先 役職	期間
1	小澤 勝彦	総括/地場産業振興	JICA 経済開発部 第一グループ長	8月9日(火)～20日(土)
2	池上 宇啓	協力計画/計画評価	JICA 経済開発部 中小企業チーム	8月9日(火)～20日(土)

4. 現地調査日程

月 日			行程	滞在先
1	8/9	火	成田発 アムステルダム着	アムステルダム泊
2	8/10	水	アムステルダム発 アクラ着	アクラ泊
3	8/11	木	9:00 JICA 事務所打合せ 10:30 在ガーナ日本国大使館表敬 13:30 MOTI & PSI との協議 16:30 NBSSI との協議	アクラ泊
4	8/12	金	10:00 MLGRD からのヒアリング 11:30 DFID からのヒアリング 14:00 GRATIS からのヒアリング、視察 16:00 MOTI & PSI との打合せ	アクラ泊
5	8/13	土	資料整理	アクラ泊
6	8/14	日	移動 アクラ → ブイペ (北部州) 15:00 SASAKAWA Africa Association 活動現場視察 移動 ブイペ → タマレ	タマレ泊
7	8/15	月	9:00 NBSSI 北部州事務所訪問、ヒアリング 10:00 GRATIS 北部州支部訪問、ヒアリング 11:00 NBSSI Tamale Business Advisory Center 訪問 12:00 シアバター製造女性グループ及び支援非政府組織 Non-Governmental Organization : NGO) (Christian Mothers Association) 訪問 13:00 NGO (Africa 2000) 訪問及びシアバター加工センター視察 移動 タマレ → クマシ	クマシ泊
8	8/16	火	9:00 Intermediate Technology Transfer Unit (University of Science and Technology) からのヒアリング、視察 SUAME クラスタ視察 移動 クマシ → アクラ 16:00 MOTI & PSI との M/M、S/W (案) に係る協議	アクラ泊
9	8/17	水	10:00 MOTI & PSI、NBSSI との M/M、S/W (案) に係る協議 11:00 NBSSI からのヒアリング 12:30 NBSSI Greater Accra Regional Office 視察 14:00 UNIDO からのヒアリング	アクラ泊
10	8/18	木	10:00 M/M 署名 13:30 JICA 事務所報告 15:30 在ガーナ日本国大使館報告 21:25 アクラ発	アクラ泊
11	8/19	金	アムステルダム着 アムステルダム発	機中泊
12	8/20	土	成田着	機中泊

5. 主要面談者

< ガーナ側 >

(1) MOTI & PSI

Ms. Hon Gifty Ohene-Konad Deputy Minister (in SME)
Mr. Seth Evans Addo Acting Chief Director
Mr. Kofi Afresh Ishaque Nuhu Principal Industrial Promotion Officer

(2) MLGRD

Mr. Abraham Dwuma Odoom Deputy Minister
Mr. Robert Kuwdrnu Director (Policy)
Mr. Dickson Abiti Assistant Director

(3) NBSSI

本 部

Nana Dr. Baah Boakye Executive Director
Dr. Jesse Osamensa Amuah Deputy Executive Director
Mr. L. D Baeku Director, Policy Planning, Monitoring Evaluation
Mr. Emanuel O. Lampty Director, Investment and Credit
Ms. Elizabeth Ngrel Director, Entrepreneurship Department
Mrs. Arrna Armo-Himbson Director, Women Enterprise Development
Mrs. Adn-Munty Senior Public relation Officer

北部州事務所 (Secretariat of Northern Region)

Mr. Ishmail Ibrahim Regional Manager
Mr. Mohammed Mahammood Assistant Project Officer
Tamale Business Advisory Center
David Amos Andoh-Kesson Manager of Business Advisory Center

(4) GRATIS

本 部

Mr. Rwabena Dankyi Darfoor Chief Executive Officer
Regional Technology Transfer Center in Tamale
Mr. Kaleem Haruna Regional Manager
Mr. Ameh Atti Workshop Manager

(5) Central Gonja District Assembly

Mr. Framic E. Odror District Coordinating Director
Mr. Zakariah Yakubu District Chief Executive

<ドナー>

(1) UNIDO

Mr. Akmel Prosper Akpa..... Representative (Ghana-Togo-Benin)

Mr. Jacob Ainoo- Ansah..... Program Officer

(2) DFID

Ms. Catherine Martin..... Private Sector Development Advisor

<NGO>

(1) Sasakawa Africa Association

Ph. D. Michael Abu-Sakara Foster..... Country Director/SAA World Bank Liaison

Mr. A. R. Adam..... Project Coordinator

(2) The Africa 2000 Network in Ghana

Mr. Tahidu Danda..... Project Officer

<日本側>

(1) 在ガーナ日本国大使館

中村 温..... 参事官

中瀬 崇文..... 専門調査員

(2) JICA ガーナ事務所

宍戸 健一..... 所 長

小淵 伸司..... 次 長

小林 英里子..... 所 員

晋川 眞..... 所 員

小山 佐知..... 在外専門調整員

第2章 M/M、S/Wに係る協議結果

本事前調査では、関係機関との協議及び情報収集に基づき、本格調査のS/W案についてガーナ側関係機関と合意し、その他必要事項を定めたM/Mに添付して署名を行った。またS/Wの署名は事前調査団帰国後、本部においてS/W案の決裁を了したあとにJICAガーナ事務所を通して行うことで先方の理解を得た。なお、本調査団帰国後、2005年10月17日付でガーナ事務所と先方政府間でS/W及びM/Mに署名を行った。

1. 本格調査概要

(1) 調査目的

プロジェクト形成調査時に地場産業振興のためのマスタープラン/アクションプランの策定を調査の主目的とする旨合意していたが、今次調査においてガーナ側と継続協議を行い、マスタープラン/アクションプランの内容の明確化を図り、以下を調査目的とすることでガーナ側と合意した。

「地場産業及びその周辺環境に関する現状調査、選定された地場産業の開発ポテンシャルに係る分析、及び地場産業に対するビジネスサポートの試行的実施より得られる教訓を基に、地場産業活性化のためのビジネスサポートシステムに係るマスタープラン/アクションプランを策定する」

(2) 対象地域

プロジェクト形成調査時の合意のとおり、全国を調査対象とし Greater Accra Region、Ashanti Region、Central Region、Northern Region の4州に重点を置く旨再確認した。またプロジェクト形成調査時にはパイロットプロジェクトの対象地域として上記4州から合計4つの District を選定することとしていたが、以下(3)に記載のとおりパイロットプロジェクトの内容を変更したことに伴い、これらを4州において州単位で実施することとした。

(3) 調査内容

PSDS の現状を踏まえ、パイロットプロジェクトの内容をプロジェクト形成時に想定した、District Industrial Program (DIP : 旧 REDP の新名称) で設立される COVE (DIP の下 District Assembly 20%、ローカルコミュニティ (農民) 20%、一般投資家 60% の出資により設立される企業) に対する直接支援から、DIP とは離れ NBSSI を実質的 C/P とした既存のビジネスサポートシステムの強化等による地場産業活性化支援策の試行に変更する旨、ガーナ側に提案し協議を行った。MOTI & PSI 側からは旧案のとおりパイロットプロジェクトによる DIP/COVE の支援を望む意見と、DIP/COVE とは切り離し、地場産業サポートシステムを構築するために適当と思われる活動を実施すべきとの両意見があり、必ずしも省内の意見調整が円滑ではないとの印象を受けたが、最終的には、対象4州において支援対象産業における COVE が設立された場合においては、これをビジネスサポートシステムの強化を通じての支援の対象から除外する意図はなく、他の生産者団体と同様、セミナーの対象者等として COVE が本開発調査から支援を受ける可能性はあるとの理解の下、調査

団側提案に基づき以下の内容で合意に至った。なお「パイロットプロジェクト」の名称は具体的な企業の活動を支援するとの印象を与えやすく、合意された活動内容と一致しないため、新たに「トライアルプログラム」との名称を用いることとした。

フェーズⅠ：基礎調査（8ヵ月）

- 1) ガーナの経済状況及び地場産業の現状把握
 - 1-1) 産業セクターを中心としたガーナ経済に係る既存データの収集・分析
 - 1-2) 経済産業政策、関連法規、規定についての調査・分析
 - 1-3) 対象4州（Greater Accra、Ashanti、Central、Northern）における地場産業の現状調査
- 2) 地場産業が抱える課題とステークホルダーの分析
 - 2-1) 社会経済インフラ、各種サービス、人材資源、国内外の市場等、地場産業に影響を与える経済・産業・社会状況の調査
 - 2-2) 地場産業関連ステークホルダーの分析
- 3) 発展ポテンシャルの高い地場産業の選定（対象4州から各1つ）及び発展に必要な支援の特定
- 4) トライアルプログラムの策定
基礎調査の結果に基づいたトライアルプログラム（地場産業振興を目的としたビジネスサポートの試行）の計画策定

フェーズⅡ：トライアルプログラム（12ヵ月）

- 1) トライアルプログラムの実施
- 2) トライアルプログラムの進捗及び結果に係る評価

フェーズⅢ：マスタープラン/アクションプランの策定

- 1) 全国レベル及び地域レベルにおける地場産業振興を目的としたビジネスサポートシステムに係るマスタープラン/アクションプランの策定
- 2) 官民双方を対象としたセミナー/ワークショップによる調査結果の紹介/普及

(4) 調査スケジュール

以下のスケジュールを提案し、ガーナ側と合意した。

- | | |
|------------------------|------|
| 1) 基礎調査： | 8ヵ月 |
| 2) トライアルプログラム： | 12ヵ月 |
| 3) マスタープラン/アクションプラン策定： | 4ヵ月 |

2. 本格調査実施上の留意点

本格調査実施上の以下の留意点についてガーナ側と協議し M/M として合意した。

(1) 必要な基本情報の提供について

次の3点を含めた開発調査の詳細計画を策定するために必要な情報を開発調査実施前に提供するようガーナ側に依頼し M/M で確認した。

- 1) DIP の進捗状況
- 2) 現在 MOTI & PSI が策定中の Trade Sector Support Program
- 3) 工業センサス 2003

(2) トライアルプログラムの対象地場産業の選定について

調査重点対象の 4 州におけるトライアルプログラムの対象産品については、調査のフェーズ I 「基礎調査」の結果に基づき最終的に決定される予定である。しかしながら、ガーナ側関係機関からのヒアリングによれば、各州におけるポテンシャルの高い地場産業は既に絞られているとのことであり、対象産物を決めることにより、より効率的、効果的に基礎調査が実施可能と考えられるところ、ガーナ側と協議のうえ、ガーナ側からの提案に基づき以下の産業をトライアルプログラムの対象産業として暫定的に決め、M/M に記載した。

Greater Accra Region : 衣服

Ashanti Region : パームオイル若しくはキャッサバ加工業

Central Region : 柑橘類加工

Northern Region : シアバター製造

(3) ガーナ側実施体制について

本件開発調査のフレームワークに合わせ、本件調査のために以下の 4 種のコミッティー・グループを設置するようガーナ側に提案しミニッツで確認した。

- 1) ステアリング・コミッティー
- 2) ワーキンググループ
- 3) 対象 4 州における基礎調査のためのワーキンググループ
- 4) 対象 4 州におけるトライアルプログラムのためのワーキンググループ

うち 1) については必要機関を含め、かつ機能的に稼動できるメンバーにより構成するようガーナ側に依頼したが、M/M に記載し MOTI & PSI が署名する前に対象機関の許可を得る必要があるとの理由により、今回の M/M では具体的な構成機関を記載せず、S/W 署名までにガーナ側でメンバーを決定することとした。また 2) については NBSSI が調査全体の実質的 C/P 機関となるため、MOTI & PSI Chief Director に加え、NBSSI の Executive Director をメンバーとした。なお対象 4 州におけるワーキンググループを 3)、4) のとおり 2 種類設定しているが、これは NBSSI の地方支部を主要 C/P として基礎調査を実施した結果に基づき、NBSSI 以外の機関を対象としたトライアルプログラムが策定・実施される可能性を考慮したものである。

(4) 調査団に対する便宜供与について

調査期間全体を通じて NBSSI が主要 C/P となる可能性が高いため、重点調査対象 4 州の州都（アクラ、クマシ、ケープコースト、タマレ）それぞれにおいて NBSSI の建物に調査団のオフィススペースを確保するよう MOTI & PSI、NBSSI に依頼し、M/M で確認した。

第3章 地場産業及び関連機関の現状

3. 北部州地場産業（シアバター製造）の状況

北部州の有望地場産業についてガーナ側関係機関からヒアリングを行ったところ、MOTI & PSI、NBSSI、GRATIS のすべてからシアバター製造が第1候補としてあげられ、また多くの NGO が北部州においてシアバター製造を行う女性グループに対する支援を行い、一定の成果を収めており、信頼し得る統計的データはないものの、右産業が北部州における主要かつ発展ポテンシャルの高い地場産業であることは確実と考えられる。現状把握のためシアバター製造の中心の実施主体である農村の女性グループ及び複数の支援 NGO からヒアリングを行ったところ以下の印象を受けた。

- (1) バイヤーが確保されず生産が数箇月にわたり停止状態の女性グループがある一方、その近隣地域において海外からトン単位で発注を受け生産を拡大している女性グループもあり、品質が影響している可能性もあるにせよ、バイヤーの確保すなわちマーケティングが最大の課題である可能性が高い。
- (2) 販売先の確保のためには一定量を安定的に供給できることが必要であり、NGO が進めている生産者（農村女性）の組織化による生産規模の大規模化は、シアバター製造業振興のための適切なアプローチと考えられる。
- (3) 帳簿管理、在庫管理等が適切に実施されているとは思われず、経営管理面での支援も有益と考えられる。
- (4) 生産機械があるにもかかわらず、手作業でシアバターを製造している女性グループがあるなど、最適な生産工程はいまだ確立されていないと思われ、生産工程と品質について詳細な調査を行うことにより、生産工程改良による品質向上を図る余地もあると考えられる。

このように、シアバター製造業は支援による発展の可能性を有しているものの、現在までのところ公的機関（NBSSI 等）による十分な支援は行われていない状況にある。州都タマレにある NBSSI-BAC は 2005 年にシアバター生産女性グループに対する簡易な支援ニーズアセスメント調査を実施し、現在この結果を取りまとめ中であり、2006 年以降、NBSSI はこの調査結果等を活用してシアバター製造業に関する研修を充実させる予定であるところ、トライアルプログラムとしてこれを支援することは NBSSI の方針にも合致しており、大きな成果が期待できるものと思われる。

2. 地場産業関連ガーナ側機関の現況

地場産業支援活動を行う実施機関として主に経営管理面でのビジネスサポートを提供している NBSSI と、地域における小規模製造業に必要な機材の開発及び技術訓練の提供等技術面からビジネスサポートを行う Ghana Regional Appropriate Technology Industrial Service (GRATIS Foundation) について活動状況に係る視察及びヒアリングを行った。

(1) NBSSI

NBSSI はアクラにある本部のほか各州に州事務所があり、また現在全国に 138 存在す

る District のうち 80 以上の District に BAC を設置している。今次調査では本部との協議に加え、タマレの北部州事務所、タマレ District の BAC 及び Greater Accra 州の州事務所を訪問した。これらからのヒアリングによると州事務所の機能は州内にある BAC の監督であり、BAC が実施しているのと同様の研修/セミナーは基本的には州事務所では実施していない。しかしながら District をまたがり広域的に活動する必要がある場合についてはこの限りではなく、セミナーを州事務所で直接実施するケースもある。また NBSSI は小規模ながらマイクロクレジットのスキームを有しているが、これについては BAC では扱っておらず州事務所の直営事業とのことであった。BAC の事業に関しては 2005 年度の研修/セミナーの実実施計画資料を入手したが、これによると BAC ごとに異なるものの、各 BAC においておおむね年間 10~20 件の研修/セミナーが実施されており、これに加え数件のニーズアセスメント調査が行われている。研修/セミナーの内容としては経営管理、起業、生産者の組織化等が主であるが District によってはバティック製造、養蜂等、製造技術に係る実技研修も行っている。研修内容の決定方法について確認したところ、ニーズに合わせて柔軟に研修を企画、実施しているとの回答が得られたが、特定の産業に重点を置いて支援する等の戦略性は特になく模様であった。BAC に配置される NBSSI 職員はそれぞれ 1、2 名程度のため、研修/セミナーについては NBSSI 職員が直接実施するわけではなく、主に民間コンサルタントに委託しており、実技研修については工科大学や GRATIS に講師を依頼するケースが多いとのことである。また BAC の研修/セミナーは基本的に BAC が存在する District の生産者を対象としているが、BAC のない District については近隣の BAC が兼轄しており、今回訪問したタマレ BAC については合計 6 つの District を管轄している。

研修内容の選定方法、研修/セミナーの実実施手法等改善の余地は多いにあると考えられるものの、同程度の発展段階にあるほか途上国の中小企業庁等と比較すると、地域レベルまでサービスが提供できる体制が構築されており、地場産業支援のためのビジネスサポートシステムの構築を目的とする本開発調査において中心的な C/P としての役割を担うべき機関であるといえる。

(2) GRATIS Foundation

GRATIS は MOTI & PSI のプロジェクトから発展的に設立された財団であり、上述のとおり小規模製造業に必要な機材及び技術訓練の提供等、技術面から地場産業の支援を行っている。現在は政府及びドナーからの資金援助を受けており、これにより安価に各種零細工業用生産機械を生産者に提供することが可能となっているが、2006 年にこれら資金援助が中止されるため、新たなドナーを探している状態とのことである。

Greater Accra の TEMA に本部があり、設計ユニットにおいて各種生産機械の設計が行われている。そのほか Ashanti 州を除くすべての州に Regional Center があり、各センターにおいてそれぞれの州で活発な産業を中心とした様々な生産機械の製造や研修を実施している。研修についてはワークショップにおける 1~3 年の技術者育成長期研修から数箇月、数週間単位での染色技術研修、数日単位での村落におけるキャッサバ加工生産機械のデモンストレーション等、多様な期間、業種に対して活動が行われている。今次視察においては、本部に併設された Greater Accra Regional Center において地域の農村女性に対するろうけつ染めの研修が実施されている様子や、北部州 Regional Center でシアバター製造

の全工程に係る加工機械が製造されている様子が見られ、また前述のシアバター製造女性グループを訪問した際に GRATIS で製造された機材が活用されていることなどから GRATIS の活動のインパクトの大きさが確認された。GRATIS がトライアルプログラムの主要 C/P と成り得るかどうかは不明であるが、トライアルプログラムの対象として暫定的に選定した産業はすべて GRATIS が活動対象としている分野であり、トライアルプログラムを実施するうえで GRATIS との連携を図ることは有益であると考えられる。なお、クマシのスアメ産業クラスターにおいて GRATIS と同様の活動を行っているクマシ工科大学の技術支援ユニットの活動の視察も行ったが、開発調査においてはこれら大学関連機関による地場産業支援活動についても十分に調査することが望まれる。

3. 関連ドナーの動向

(1) DFID

民間セクター開発分野のドナー協調で中心的な役割を果たしている DFID より、以下のコメントを得た。「REDP に対する直接的支援ではなく一般的な意味でのビジネスサポートシステムの強化を目的とする本件開発調査は、2005 年 6 月に主要ドナー間で M/M に署名し支援を決定した民間セクター開発戦略に、より合致した方向性の協力である」。

なお、PSDS 上の本プロジェクトの正式な位置づけについては、定期的に開催している民間セクター開発分野のドナー会合で決定されるため、今後協力内容が正式に決定してから随時ドナー会合に報告することが望まれる。

(2) UNIDO

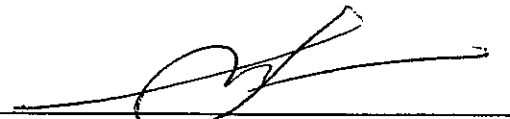
UNIDO は NBSSI を C/P として、農村の小零細企業の振興を目的とした Rural Enterprises Development Support Project (REDS プロジェクト) を 2002 年から 3 年間実施し完了したところであるが、このプロジェクトは対象州 (Volta Region、Eastern Region、Western Region の 3 州) は本件開発調査と異なるものの、NBSSI を主要 C/P として農村地域における生産活動を試行的に支援する等、アプローチの面では本件開発調査との類似点もみられる。これに関し UNIDO から「本件開発調査の実施時においては、日本側調査団に対し REDS プロジェクトで得られた知見を積極的に提供していきたい」とのコメントが得られた。なお UNIDO は REDS プロジェクトのフェーズ II も計画しているが、フェーズ II が実施される場合には内容によっては本件開発調査との連携も可能になると考えられる。

付 属 資 料


1. M/M (事前調査団署名)
2. S/W (事務所署名)
3. M/M (事務所署名)
4. 面談議事録

**MINUTES OF MEETING
FOR
THE PREPARATORY STUDY
ON
THE STUDY ON PROMOTION AND DEVELOPMENT OF
LOCAL INDUSTRIES
IN
THE REPUBLIC OF GHANA
AGREED UPON BETWEEN
THE MINISTRY OF TRADE AND INDUSTRY
AND
THE JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY**

Accra, 18th August 2005



Mr. Katsuhiko Ozawa
Team Leader
Preparatory Study Team
Japan International Cooperation Agency



Hon. Gifty Ohene-Konadu
Deputy Minister
Ministry of Trade and Industry



Nana Dr. Baah Boakye
Executive Director
National Board for Small Scale
Industries

The Japanese Preparatory Study Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Katsuhiko Ozawa visited the Republic of Ghana from 10th to 18th of August 2005 for the purpose of discussing the framework of the Study on Promotion and Development of Local Industries in the Republic of Ghana (hereinafter referred to as "the Study")

The Team had a series of discussions with the representatives of the Government of the Republic of Ghana (hereinafter referred to as "GOG"), mainly with the Ministry of Trade and Industry (hereinafter referred to as "MOTI") and National Board for Small Scale Industries (hereinafter referred to as "NBSSI") under the ministry, and exchanged views on the contents of the Study.

The following points were confirmed by both parties.

1. Former Minutes of Meeting

Both parties agreed that contents of the minutes of the meeting signed on 12th November 2004 between MOTI and JICA are renewed and replaced by the following agreements from item 2 to 6.

2. Scope of Work (hereinafter referred to as "SW")

Both parties agreed on the draft of SW as shown in Appendix 2 and confirmed that JICA shall make a final decision on the Study plan, based on the agreement, before signing of the Scope of Work. After the final decision of JICA, MOTI and JICA Ghana office will sign the Scope of Work.

3. Provision of basic economic and social information

Before commencement of the Study, GOG will provide JICA with some indispensable information for the Study including the following

- (1) The progress of District Industry Program (DIP); Name and nature of established Cooperate Village Enterprise.
- (2) Final document of Trade Sector Support Project (TSSP) and
- (3) Industrial Census 2003

4. Selection of the targeted local industry for the trial implementation of business support for local industry (hereinafter referred to as "the Trial Program").

Both parties agreed on the following as the target of the Trial Program on condition that these could be changed during phase 1 of the Study based on the result of the basic survey.

Greater Accra Region: Garment
Ashanti Region: Palm oil or Cassava processing
Central Region: Citrus processing
Northern Region: Shea butter

5. Organizational Setup for Implementation of the Study

The Ghanaian side shall set up an organizational framework as follows for the implementation of the Study.

(1) Steering Committee

1) Functions

- (a) To supervise and to provide advice for the Study
- (b) To provide the Study Team with necessary information and to coordinate with the relevant authorities

2) Members

to be determined by the signing of the Scope of Work

(2) Working Group

1) Functions

- (a) To work as a counterpart to the Study Team
- (b) To provide the Study Team with necessary support

2) Members

MOTI (Acting Chief Director)
NBSSI (Executive Director)

(3) Working Groups for the basic survey in each of Greater Accra, Ashanti, Central and Northern Region (hereinafter referred to as "the four (4) Selected Regions ")

1) Functions

- (a) To work as a counterpart of the Study Team for the basic survey in phase 1 of the Study
- (b) To provide the Study Team with necessary support under the direction and coordination of central level organizational framework.

2) Members

Responsible officer should be assigned for the basic survey from each organization.
MOTI

Handwritten initials/signature
K.

NBSSI
Regional Coordinating Council
District Assembly
Ghana Regional Appropriate Technology Industrial Service Foundation

(4) Working Group for the Trial Program in each of the four (4) Selected Regions

1) Functions

(a) To work as a counterpart of the Study Team for the Trial Program

(b) To provide the Study Team with necessary support under the direction and coordination of central level organizational framework.

2) Members

Responsible officer should be assigned for the study based on the framework of the Trial Program, which will be formulated during the basic survey in phase 1 of the Study.

6. Office of the Study Team

Office space for the Study Team shall be arranged under the responsibility of MOTI at NBSSI buildings in Accra, Kumasi, Cape coast and Tamale with necessary office equipments.

List of Attendants

<Ghanaian Side>

Ministry of Trade and Industry

Hon. Gifty Ohene-Konadu, Deputy Minister

Mr. Seth Evans Addo, Acting Chief Director

National Board for Small Scale Industries

Nana Dr. Baah Boakye, Executive Director

<Japanese Side>

Preparatory Study Team

Mr. Katsuhiko OZAWA, Leader/Local Industry Development

Mr. Takahiro IKENOUE, Cooperation Planning / Planning Evaluation

JICA Ghana Office

Ms. Eriko KOBAYASHI, Assistant Resident Representative

**DRAFT OF SCOPE OF WORK
FOR
THE STUDY ON PROMOTION AND DEVELOPMENT OF
LOCAL INDUSTRIES
IN
THE REPUBLIC OF GHANA
AGREED UPON BETWEEN
THE MINISTRY OF TRADE AND INDUSTRY
AND
THE JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY**

Accra, 2005

Mr. Katsuhiko Ozawa
Team Leader
Preparatory Study Team
Japan International Cooperation Agency

Hon. Alan Kyerematen
Minister
Ministry of Trade and Industry

Mr. Ernest Osei Prempeh
Director External Resource Mobilization
Ministry of Finance and Economic
Planning

I. INTRODUCTION

In response to the request of the Government of Republic of Ghana (hereinafter referred to as "GOG"), the Government of Japan (hereinafter referred to as "GOJ") decided to conduct the Study on Promotion and Development of Local Industries in Ghana (hereinafter referred to as "the Study") with the Ministry of Trade and Industry (hereinafter referred to as "MOTI") in accordance with the relevant laws and regulations in force in Japan.

Accordingly, the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), the official agency responsible for the implementation of the technical cooperation programs of the GOJ, will undertake the Study in close cooperation with the authorities of the GOG.

This document sets forth the scope of work for the Study.

II. OBJECTIVE OF THE STUDY

To formulate the master plan and action plan of business support system for the establishment and promotion of local industry by undertaking the study of the current condition and surrounding environment of local industries and the analyses of the development potential of the selected industries and the lessons learned from the trial implementation of business support for local industry (hereinafter referred to as "the Trial Program").

III. THE STUDY AREA

The Study will cover the whole Ghana with emphasis on Greater Accra Region, Ashanti Region, Central Region, and Northern Region (hereinafter referred to as "the four(4) Selected Regions").

GOG
K-E

IV. SCOPE OF THE STUDY

Phase 1: Basic survey (8 months)

- 1) Study on the economy of Ghana and current condition of local industries
 - 1-1) Collect and analyze existing data on Ghanaian economy particularly on industrial sector
 - 1-2) Review on existing economic and industrial policy, regulations and the regulatory environment
 - 1-3) Study on the current condition of local industries in the four (4) Selected Regions
- 2) Analysis of the constraints and stakeholders
 - 2-1) Study on economic, industrial and social conditions which affect local industries ; social and economic infrastructure, services, human resource capability, and international and domestic market.
 - 2-2) Study on stakeholders in local industry
- 3) Selection of one local industry for each of the four (4) Selected Regions that have high potential for development and identification of necessary support for them(i.e. management, technology and finance)
- 4) Formulation of the Trial program
Formulation of the framework and implementation plan of the Trial Program for each of the selected local industry based on the result of the basic survey

Phase 2: Trial Program (12 months)

- 1) Implementation of the Trial Program
- 2) Evaluation of progress and result of the Trial Program

Phase 3: Formulation of the master plan / action plan (4 months)

- 1) Formulation of the master plan / action plan of business support system for the promotion and development of local industry both at national level and local level



Handwritten initials or signature in the bottom right corner, possibly 'F.B.'.

- 2) Introduction and dissemination of the result of the Study by seminars and workshops both for public sectors and private sectors

V. WORK SCHEDULE

The Study shall be conducted in accordance with tentative schedule in Appendix attached herewith. Outline of the tentative schedule is as follows.

Phase 1: January 2006 – August 2006 (8 months)

Phase 2: September 2006 – August 2007 (12 months)

Phase 3: September 2007 – December 2007 (4 months)

VI. REPORTS

JICA shall prepare and submit the following reports to GOG:

- Inception Reports (20 copies in English)
- Progress Reports (20 copies in English)
- Interim Reports (20 copies in English)
- Draft Final Reports and Summary (20 copies in English)
- Final Reports and Summary (30 copies in English)

VII. UNDERTAKINGS OF THE GOG

1. To facilitate the smooth conduct of the Study; GOG shall take the following necessary measures:
- (1) To permit the members of the Team to enter, leave and sojourn in Ghana for the duration of their assignments therein and exempt them from foreign registration requirements and consular fees;
 - (2) To exempt the members of the Team from taxes, duties and any other charges on equipment, machinery and other material brought into Ghana for the implementation of the Study;
 - (3) To exempt the members of the Team from income tax and charges of any kind imposed on or in connection with any emoluments or allowances paid to the members of the Team for their services in connection with the implementation of the Study;



- (4) To provide necessary facilities to the Team for the remittance as well as utilization of the funds introduced into Ghana from Japan in connection with the implementation of the study;
- (5) To secure permission for entry into Ghana, into all areas concerned for the implementation of the Study if it is necessary; and
- (6) To secure permission for the Team to take all data and documents including photographs and maps related to the Study out of Ghana to Japan.

2. GOG shall bear claims, if any arises, against the members of the Team resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their duties in the implementation of the Study, except when such claims arise from gross negligence or willful misconduct on the part of the team.

3. MOTI shall act as counterpart agency to the Team and also act as coordinating body in relation with other governmental and non-governmental organizations concerned for the smooth implementation of the Study.

4. MOTI shall, at their own expense, provide the Team with the following, in cooperation with other organizations concerned:

- (1) Security-related information on as well as measures to ensure the safety of the Team;
- (2) Information on as well as support in obtaining medical service;
- (3) Available data and information related to the Study;
- (4) Counterpart personnel;
- (5) Suitable office space with necessary office equipment and facilities; and
- (6) Credentials of identification cards.

VII. OTHERS

JICA and MOTI shall consult with each other in respect of any matters that arise from, or in connection with, the Study.

G.P.K.
K.B.

TENTATIVE SCHEDULE OF THE STUDY

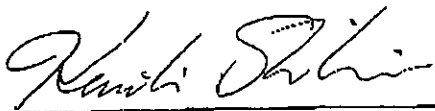
Year	2006											
Month	Jan.	Feb.	Mar.	Apr.	May	Jun.	Jul.	Aug.	Sep.	Oct.	Nov.	Dec.
Order of Month	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
Work in Ghana	[Blacked out]											
Work in Japan	[Blacked out]											
Report	◆ IC/R		◆ P/R							◆ IT/R		

Year	2007											
Month	Jan.	Feb.	Mar.	Apr.	May	Jun.	Jul.	Aug.	Sep.	Oct.	Nov.	Dec.
Order of Month	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
Work in Ghana	[Blacked out]											
Work in Japan	[Blacked out]											
Report			◆ P/R							◆ DF/R		◆ F/R

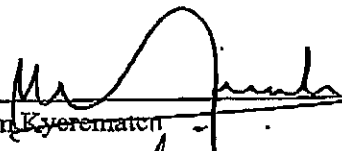
IC/R: Inception Report
P/R : Progress Report
IT/R: Interim Report
DF/R: Draft Final Report
F/R : Final Report

SCOPE OF WORK
FOR
THE STUDY ON PROMOTION AND DEVELOPMENT OF
LOCAL INDUSTRIES
IN
THE REPUBLIC OF GHANA
AGREED UPON BETWEEN
THE MINISTRY OF TRADE AND INDUSTRY
AND
THE JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

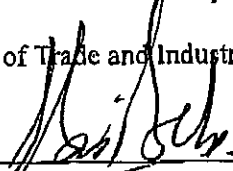
Accra, 17th October 2005



Mr. Kenichi Shishido
Resident Representative
Ghana Office
Japan International Cooperation Agency



Hon. Alan Kyereematen
Minister
Ministry of Trade and Industry



Mr. Ernest Osei-Prempeh
Director, External Resource Mobilization
Ministry of Finance and Economic
Planning

I. INTRODUCTION

In response to the request of the Government of the Republic of Ghana (hereinafter referred to as "GOG"), the Government of Japan (hereinafter referred to as "GOJ") decided to conduct the Study on Promotion and Development of Local Industries in Ghana (hereinafter referred to as "the Study") with the Ministry of Trade and Industry (hereinafter referred to as "MOTI") in accordance with the relevant laws and regulations in force in Japan.

Accordingly, the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), the official agency responsible for the implementation of the technical cooperation programs of the GOJ, will undertake the Study in close cooperation with the authorities of the GOG.

This document sets forth the scope of work for the Study.

II. OBJECTIVE OF THE STUDY

To formulate the master plan and action plan of business support system for the establishment and promotion of local industry by undertaking the study of the current condition and surrounding environment of local industries and the analyses of the development potential of the selected industries and the lessons learned from the trial implementation of business support for local industry (hereinafter referred to as "the Trial Program").

III. THE STUDY AREA

The Study will cover the whole Ghana with emphasis on Greater Accra Region, Ashanti Region, Central Region, and Northern Region (hereinafter referred to as "the four(4) Selected Regions").

17/10/92

IV. SCOPE OF THE STUDY

Phase 1: Basic survey (8 months)

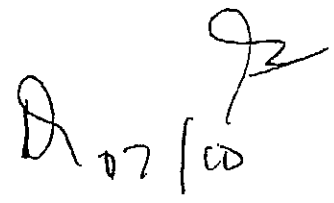
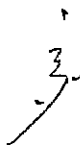
- 1) Study on the economy of Ghana and current condition of local industries
 - 1-1) Collect and analyze existing data on Ghanaian economy particularly on the industrial sector
 - 1-2) Review on existing economic and industrial policy, regulations and the regulatory environment
 - 1-3) Study on the current condition of local industries in the four (4) Selected Regions
- 2) Analysis of the constraints and stakeholders
 - 2-1) Study on economic, industrial and social conditions which affect local industries: social and economic infrastructure, services, human resource capability, and international and domestic markets
 - 2-2) Study on stakeholders in local industry
- 3) Selection of one local industry for each of the four (4) Selected Regions that have high potential for development and identification of necessary support for each of them (i.e. management, technology and finance)
- 4) Formulation of the Trial program
Formulation of the framework and implementation plan of the Trial Program for each of the selected local industry based on the result of the basic survey

Phase 2: Trial Program (12 months)

- 1) Implementation of the Trial Program
- 2) Evaluation of progress and result of the Trial Program

Phase 3: Formulation of the master plan / action plan (4 months)

- 1) Formulation of the master plan / action plan of business support system for the promotion and development of local industry both at national and local levels



- 2) Introduction and dissemination of the result of the Study by seminars and workshops both for the public sector and the private sectors

V. WORK SCHEDULE

The Study shall be conducted in accordance with tentative schedule in Appendix attached herewith. Outline of the tentative schedule is as follows.

Phase 1: January 2006 – August 2006 (8 months)

Phase 2: September 2006 – August 2007 (12 months)

Phase 3: September 2007 – December 2007 (4 months)

VI. REPORTS

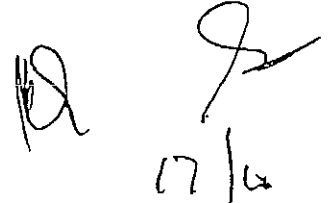
JICA shall prepare and submit the following reports to GOG:

- Inception Reports (20 copies in English)
- Progress Reports (20 copies in English)
- Interim Reports (20 copies in English)
- Draft Final Reports and Summary (20 copies in English)
- Final Reports and Summary (30 copies in English)

VII. UNDERTAKINGS OF THE GOG

1. To facilitate the smooth conduct of the Study; GOG shall take the following necessary measures:

- (1) To permit the members of the Team to enter, leave and sojourn in Ghana for the duration of their assignments therein and exempt them from foreign registration requirements and consular fees;
- (2) To exempt the members of the Team from taxes, duties and any other charges on equipment, machinery and other material brought into Ghana for the implementation of the Study;
- (3) To exempt the members of the Team from income tax and charges of any kind imposed on or in connection with any emoluments or allowances paid to the members of the Team for their services in connection with the implementation of the Study;



- (4) To provide necessary facilities to the Team for the remittance as well as utilization of the funds introduced into Ghana from Japan in connection with the implementation of the study;
- (5) To secure permission for entry into Ghana, into all areas concerned for the implementation of the Study if it is necessary; and
- (6) To secure permission for the Team to take all data and documents including photographs and maps related to the Study out of Ghana to Japan.

2. GOG shall bear claims, if any arises, against the members of the Team resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their duties in the implementation of the Study, except when such claims arise from gross negligence or willful misconduct on the part of the team.

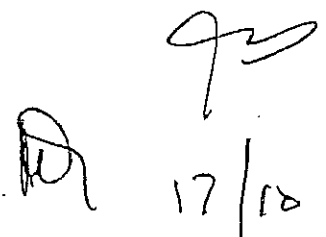
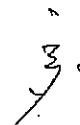
3. MOTI shall act as counterpart agency to the Team and also act as coordinating body in relation with other governmental and non-governmental organizations concerned for the smooth implementation of the Study.

4. MOTI shall, at their own expense, provide the Team with the following, in cooperation with other organizations concerned:

- (1) Security-related information on as well as measures to ensure the safety of the Team;
- (2) Information on as well as support in obtaining medical service;
- (3) Available data and information related to the Study;
- (4) Counterpart personnel;
- (5) Suitable office space with necessary office equipment and facilities; and
- (6) Credentials of identification cards.

VIII. OTHERS

JICA and MOTI shall consult with each other in respect of any matters that arise from, or in connection with, the Study.



17/10

TENTATIVE SCHEDULE OF THE STUDY

Year	2006											
Month	Jan.	Feb.	Mar.	Apr.	May	Jun.	Jul.	Aug.	Sep.	Oct.	Nov.	Dec.
Order of Month	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
Work in Ghana	[REDACTED]											
Work in Japan	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
Report	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>							<input type="checkbox"/>		
	IC/R		P/R							IT/R		

Year	2007											
Month	Jan.	Feb.	Mar.	Apr.	May	Jun.	Jul.	Aug.	Sep.	Oct.	Nov.	Dec.
Order of Month	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
Work in Ghana	[REDACTED]											
Work in Japan		[REDACTED]			[REDACTED]			[REDACTED]			[REDACTED]	[REDACTED]
Report			<input type="checkbox"/>							<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
			P/R							DF/R		F/R

IC/R: Inception Report
P/R : Progress Report
IT/R: Interim Report
DF/R: Draft Final Report
F/R : Final Report

3
7

17/05

MINUTES OF MEETING
ON
THE STUDY ON PROMOTION AND DEVELOPMENT OF
LOCAL INDUSTRIES
IN
THE REPUBLIC OF GHANA
AGREED UPON BETWEEN
THE MINISTRY OF TRADE AND INDUSTRY
AND
THE JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

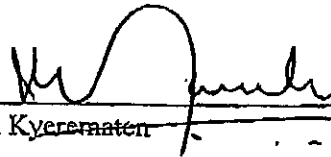
Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and the Ministry of Trade and Industry in the Republic of Ghana (hereinafter referred to as "MOTI") signed the Scope of Work on the Study on Promotion and Development of Local Industries (hereinafter referred to as "the Study").

The attached document hereto is intended to specify organizational setup for the Study.

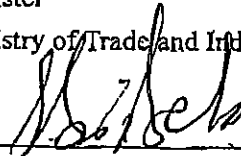
Accra, 17th October 2005



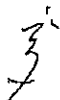
Mr. Kenichi Shishido
Resident Representative
Ghana Office
Japan International Cooperation Agency



Hon. Alan Kyereamaten
Minister
Ministry of Trade and Industry



Mr. Ernest Osei Prempeh
Director, External Resource Mobilization
Ministry of Finance and Economic
Planning



1. Former Minutes of Meeting

Both parties agreed that contents of the item 5 of the Minutes of Meeting signed on 18th August 2005 between MOTI and JICA are renewed and replaced by the following item 2.

2. Organizational Setup for Implementation of the Study

The Ghanaian side shall set up an organizational framework as follows for the implementation of the Study.

(1) Steering Committee

1) Functions

(a) To supervise and provide advice for the Study

(b) To provide the Study Team with necessary information and to coordinate with the relevant authorities

2) Members

Chairperson

Hon. Deputy Minister (SME's), Trade and Industry

Ghanaian side

Acting Chief Director, Ministry of Trade and Industry

Chief Industrial Promotion Officer, Ministry of Trade and Industry

Deputy Chief Industrial Promotion Officer, Ministry of Trade and Industry

Director/Head of PPMI, Ministry of Trade and Industry

Director, Investment and Financial Service, Ministry of Trade and Industry

Director/Head of Finance, Human Resource Management and Administration,
Ministry of Trade and Industry

Representative of Ministry of Finance and Economic Planning

Representative of National Board for Small Scale Industries

Representative of Ghana Export Promotion Centre

Representative of Ghana Standard Board

Representative of Ministry for Private Sector Development & PSI

Representative of Association of Ghana Industry

Representative of Ministry of Local Government and Rural Development

Representative of Ministry of Food and Agriculture

Relevant Personnel accepted by the Chairperson, when necessary

Japanese side

Resident Representative (RR), JICA Ghana Office

The Team of the Project

Relevant personnel accepted by RR of JICA Ghana Office, when necessary

3

17/6

J

NOTE: Official(s) of Embassy of Japan in Ghana may attend the Committee meetings as observer(s).

(2) Working Group

1) Functions

- (a) To work as a counterpart to the Study Team
- (b) To provide the Study Team with necessary support

2) Members

MOTI (Acting Chief Director)

NBSSI (Executive Director)

(3) Working Groups for the basic survey in each of Greater Accra, Ashanti, Central and Northern Regions (hereinafter referred to as "the four (4) Selected Regions ")

1) Functions

- (a) To work as counterparts to the Study Team for the basic survey in Phase 1 of the Study
- (b) To provide the Study Team with necessary support under the direction and coordination of the central-level organizational framework

2) Members

Responsible officer(s) should be assigned for the basic survey from each organization.

MOTI

NBSSI

Regional Coordinating Council

District Assembly

Ghana Regional Appropriate Technology Industrial Service Foundation

(4) Working Group for the Trial Program in each of the four (4) Selected Regions

1) Functions

- (a) To work as a counterpart of the Study Team for the Trial Program
- (b) To provide the Study Team with necessary support under the direction and coordination of the central-level organizational framework

2) Members

Responsible officer(s) should be assigned for the study based on the framework of the Trial Program, which will be formulated during Phase 1 of the Study.

4. 面談議事録

面談議事録

Ministry of Trade and Industry (1)

訪問日時		8月11日(木)13:30~14:30	
訪問相手先	組織名	Ministry of Trade and Industry	
	所在地	アクラ	
	出席者	Ms. Hon Gifty Ohene-Konadu, Deputy Minister in SME	
訪問者側	訪問者	調査団	小澤、池上、(同行:JICA ガーナ事務所 小林所員、小山在外専門調整員)
	入手資料		

— 面談概要 —

調査団より開発調査の目的/枠組みについて説明し、協力内容について意見交換を行った。

— 先方発言要旨 —

REDP について

- REDP に関し、ビジネスプランの作成は多くの District で完了しているが、実際に COVE が企業としての活動を開始した事例はまだない。
- 地場産業振興に関する協力を JICA が実施するにあたり、REDP のフレームワークにかかわる必要は特にない。

民間セクター開発に係るアプローチについて

- 欧米ドナーは政府の民間セクターに対する介入について否定的な傾向にあるが、政府と民間セクターのそれぞれに求められる役割があると認識している。

開発調査協力内容について

1)パイロットプロジェクトのアプローチについて

- 地場産業支援機関のキャパシティービルディングは地場産業振興のアプローチとして適当と考えられる。
- NBSSI が地場産業振興に係る中心的な役割を果たす機関であり、このキャパシティービルディングが求められている。全国に支部がありビジネスアドバイザーサービスを提供しているが、必要な人材が十分に育成されているとはいえない。詳細は NBSSI に確認願いたい。

- District Assemblyも地域の産業振興を図るべき機関であるが、当該分野の人材不足から十分に役割を果たしているとはいえ、ここでも人材育成が求められている。
- GRATIS は主に生産機械の開発、販売を通じて地場産業振興に貢献していると認識している。

2) パイロットプロジェクトの対象産業について

- 例えば以下の産業が対象として適切と考えられる。

Greater Accra Region: 衣料品

Ashanti Region: キャッサバ加工

Central Region: 柑橘類加工

Northern Region: シアバター

National Board for Small Scale Industry (1)

	訪問日時	8月11日(木)15:00~16:00
訪問相手先	組織名	NBSSI
	所在地	アクラ
	出席者	Nana Dr. Baah Boakye, Executive Director Mr. L.D Baeku, Director, Policy Planning, Monitoring and Evaluation Mrs. Arrna Armo-Himbson, Director, Women Enterprise Development Mrs. Adn-Muntey, Senior Public relation Officer
訪問者側	調査団	小澤、池上、(同行:JICA ガーナ事務所 小山在外専門調整員)
	入手資料	NBSSI News

－ 面談要旨 －

調査団より開発調査の目的・枠組について説明し、その妥当性について確認するとともに、開発調査への協力の意思を確認した。

－面談記録－

REDP について

- District レベルにおいて、District Committee のメンバーとして対象となる3品の選定に協力した。その後は特段の進捗はなく、また資金の確保等様々な面において当初の計画通りに進むとは考えにくい。

NBSSI の活動内容について

- ①経営・マネージメント指導、②生産技術指導の両方を行っているが、②については経費が高いこともあり、①が中心となっている。②については GRATIS と連携を行っている。
- 以前は GTZ の支援を受けたマイクロクレジット事業が NBSSI の Regional Office で実施されていたが、その後は NBSSI を離れ GTZ と DANIDA の独自の事業として SPEED という名称で継続されている。またこれとは別に NBSSI 独自のマイクロクレジット事業を開始した。
- Regional NBSSI の機能としては、Region の BAC の職員を集め計画を策定するなど Region の統括的な活動を行っている。
- 北部州の多くの村ではシアバター製造に関する Women's Association があり、北部州の BAC はこれら Women's Association 等に対し経営とシアバター製造技術の指導を行っている。

他ドナーからの援助について

- German Development Service から NBSSI の活動のモニタリングに係る協力を受けている(詳細不

明)

開発調査への参加について

- NBSSI は組織のキャパシティービルディングと機材の充実を必要としている。説明のあった協力内容(各 Region の Regional Office におけるセミナー、ワークショップの開催)はキャパシティービルディングの面で非常に有益であり、積極的に協力したい。

パイロットプロジェクトの対象産業について

- 例えば以下の産業が対象として適切と考えられる。
Ashanti Region: パームオイル、キャッサバ加工、シトロネラ(香草)オイル
Central Region: パイナップル加工、柑橘類加工
Northern Region: シアバター
(Greater Accra Region は不明)

シアバター産業について

- 各村で製造されたシアバターはタマレの民間企業が買い上げている。
- シアバター産業に関しては他ドナーからの支援は行われていないと思われる。

Ministry of Local Government and Rural Development

訪問日時		8月12日(金)9:00～10:00	
訪問相手先	組織名	Ministry of Local Government and Rural Development	
	所在地	アクラ	
	出席者	Mr. Abraham Dwuma Odoom: Deputy Minister Mr. Robert Kuwdrnu: Director (Policy) Mr. Dickson Abiti: Assistant Director	
訪問者側	訪問者	調査団	小澤、池上
	入手資料		

－ 面談概要 －

調査団より開発調査の概要を説明し、地方分権の現状、産業セクターでの MLGRD の活動、REDP の現状等について確認した。

－ 先方発言要旨 －

Director 及び Assistant Director からのヒアリング結果

地方分権について

- ・ 現在地方分権化が進められている最中であり、プロセスはまだ完了していない。
- ・ RCC も DA も Chief を含めメンバーは中央政府から任命されており、選挙で選ばれた地方議会は存在しない。将来的には選挙による地方議会の設置も検討している。
- ・ DA の予算は中央政府からの助成金 (Common Fund) と DA の独自収入により成り立っている。現在、DA の徴税権の拡充を含め DA の独自収入を高めるための方策を検討している。

産業セクターのドナーからの支援について

- ・ MLGRD を C/P として South-South Cooperation Organization (インドに本部を置く国際機関、詳細不明) が Volta Tanga Region において地場産業(バスケット)支援のプロジェクトを実施している。

RCC、DA の地場産業振興に係る役割について

- ・ 地方レベルにおいては NBSSI が RCC/DA の一部として機能しており、RCC/DA が NBSSI と別に地場産業振興に係る活動を行っているわけではない。DA が策定した Policy に沿って NBSSI (BAC) が Implementation を行っている。この意味では NBSSI は地方レベルにおいては MOTI & PSI よりむしろ MLGRD の監督下にあるといえる。

REDP について

- REDP が何であるか知らない(Director)。
- District Assembly は各 District で3品対象とする製品を選定する段階では協力したが、その後具体的には進行していない(Assistant Director)。
- 地方自治体が COVE に20%出資することについては了解していない。

本件開発調査について

- 開発調査実施の際には、Steering Committee のメンバーとなり、支援したい。

Deputy Minister との意見交換

REDP について

- REDP は着実に進行しており既に District Assembly が20%出資した事例もある。
- 毎週水曜日に REDP に関する省庁間の打ち合わせを行っており、来週水曜日にも開催する予定である。
- 本件開発調査は REDP を支援するものと認識している。

DFID

	訪問日時	8月12日(金)11:30～12:30	
訪問相手先	組織名	Department of International Development	
	所在地	アクラ	
	出席者	Ms. Catherine Martin: Private Sector Development Advisor	
訪問者側	訪問者	調査団	小澤、池上
	入手資料		

－ 面談概要 －

調査団より開発調査の概要、方針を説明し、先方から関連情報、助言を得た。

－ 先方発言要旨 －

DFID の活動について

- ・ 民間セクター開発に関し、DFID は一般財政支援に重点を置いた協力を行っている。

REDP について

- ・ REDP についてはそのフィージビリティに疑問をもっているが、MOTI & PSI が試行的に1ヵ所で COVE を立ち上げる等慎重なアプローチをとるのであれば、DFID としてはこれに対する協力も検討するつもりである。

開発調査協力内容について

- ・ BDS に対する支援は、DANIDA、USAID、EU 等が実施しており、実施の際にはこれらの活動内容を参考にすることが望まれる。
- ・ BDS は基本的には民間ベースで提供されるべきと考えているが、地方の産業を育成するためには公的機関の支援も当然必要であり、アプローチとしては適切と思われる。

PSDS と開発調査について

- ・ 本開発調査は PSDS に沿ったものと考えられるが、具体的に PSDS のどの項目に位置づけられるかは PSDS に関するドナー間の会合での協議で決められる。PSDS の項目だて自体も随時見直されるものであり、いずれかの段階で協議を行いたい。

TSSP について

- 現在、貿易産業省の TSSP 策定を待っている状況である。本開発調査についても TSSP 上にどのような位置づけられるか、確認することを薦める。

Ghana Regional Appropriate Technology Industry Service Foundation (GRATIS)

訪問日時		8月12日(金) 14:00～15:00	
訪問相手先	組織名	Regional Technology Transfer Center in Tamale (GRATIS)	
	所在地	Tema	
	出席者	Mr. Rwabena Dankyi Darfoor, Chief Executive Officer	
訪問者側	訪問者	調査団	小澤、池上
	入手資料		

－ 面談概要 －

調査団より開発調査の概要を説明し、GRATIS の活動内容をヒアリングするとともに開発調査への協力を依頼した。

－ 面談記録 －

GRATIS Foundation の活動内容について

- ・ 小規模生産機械の製造、安価での提供、及び生産活動に係る技術指導により、地域の産業振興を図っている。
- ・ 技術指導については GRATIS Foundation のワークショップ内でも行っているが、基本的には現地での指導が主である。
- ・ 地場産業支援について NBSSI がソフト面で主に支援しているのに対し、GRATIS はハード面で支援を行っている。また NBSSI の活動にも協力している。
- ・ 各 Region の GRATIS ごとに、地域特性に合わせた分野に重点を置いている。例えば Northern Region においてはシアバター製造機器を多く製造している。

GRATIS の予算について

- ・ 自己収入が約7割で残りの3割は MOTI & PSI からの補助金及び EU、CIDA からの資金援助に頼っている。補助金や資金援助は2006年で終了する予定であり、その後はすべて自己収入で賄う必要がある。販売する生産機械の価格を上げることになる可能性もある。

GRATIS の課題について

- ・ 予算の制約により機材が更新できず比較的古い機材を多く使っているが、機材を更新し新しい技術の普及を可能にする必要がある。

開発調査について

- 重要なプロジェクトと認識しており、協力したい。

Ministry of Trade and Industry (2)

	訪問日時	8月12日(木)16:30~17:00	
訪問相手先	組織名	Ministry of Trade and Industry	
	所在地	アクラ	
	出席者	Mr. Seth Evans Addo, Chief Director	
訪問者側	訪問者	調査団	小澤、池上（同行:JICA ガーナ事務所 小山在外専門調整員）
	入手資料		

— 面談概要 —

調査団より本件開発調査の概要について説明し、意見交換を行った。

— 協議概要 —

MOTI: Chief Director としては本開発調査は REDP に貢献するべきものと認識している。

調査団: 本開発調査は広く地場産業振興を目的とするものであり、REDP の推進を図るものではない。

ガーナ側でこの点についての見解が統一されていないようであるので、関係者間で意見の調整を行ってほしい。

MOTI: 了解

Sasakawa Africa Association, Central Gonja District Assembly

	訪問日時	8月14日(日)15:00～16:30
訪問相手先	組織名	Sasakawa Africa Association, Central Gonja District Assembly
	面談場所	Central Gonja District, Northern Region
	出席者	(Sasakawa Association) Ph.D. Michael Abu-Sakara Foster, Country Director/SAA World Bank Liason Mr. A-R, Adam, Project Coordinator (District Assembly) Mr. Framic E. Odror. District Coordinating Director Mr. Zakariah Yakubu, District Chief Exective
訪問者側	訪問者	調査団 小澤、池上（同行:JICA ガーナ事務所 小林所員）
	入手資料	

－ 面談概要 －

District Assembly、Farmers Association の双方より、プロジェクトの概要についてのヒアリングを行った。
また District Assembly より REDP の現状についてヒアリングを行った。

－ 先方発言要旨 －

(District Assembly)

REDP について

- この District は他の District から最近分離してできたため、Central Gonja District 固有の REDP 対象産品はない。また元の District の区分で、この地域ではキャッサバスターチが REDP の対象とされているが、キャッサバスターチについての COVE もまだ設立されてはいない。キャッサバスターチは他の地域でも多く生産しており、シアバターがより比較優位が高いと認識している。

(SASAKAWA AFRICA ASSOCIATION)

REDP について

- 一般論として農民の Cooperative は農民自身が始めたものが成功しやすく、官主導のものは成功しにくい。また REDP は MOTI & PSI 主導であるが MOTI & PSI には Extension Officer がいないため、Extension Officer を全国に配置している Ministry of Food and Agriculture がより農民の生

産活動に深く関与している面もある。

SASAKAWA AFRICA ASSOCIATION の活動及びシアバター産業について

- Buipe を含め3地域で農民の組織化、シアバター製造等による貧困対策の活動を行っている。
- 現在とっている組織化による貧困削減の手法は他国で既に成果をあげており、フィージビリティは高いと認識している。
- シアバター製造に関する最大の課題は生産規模である。高い利益を安定的にあげるためには農民の組織化による事業の大規模化が必要である。
- 現在の製造プロセスでは、シアのペーストを加熱して油分を分離するために膨大な量の炭が必要であり、これらの製造工程についても改善が必要である。
- JETRO からこの製造プロセス改善に係る協力が得られる予定である。これについて JICA から支援があればありがたい。

以下意見交換

JICA:MOTI & PSI の REDP は規模の問題を解決するためのアプローチであるが COVE 方式では問題の解決は困難か？

SA: アプローチが間違っているとまではいえないが、農民を組織化して規模の経済のメリットを得るためにはまず農民グループの Capacity Building が必要であり、COVE の枠組みをつくるだけで農民が組織化されるわけではない。我々はこの観点から農民グループのキャパシティービルディングに最も力を入れて活動を行っている。

JICA: Regional Level の NBSSI がセミナーによりシアバター産業を支援する場合、具体的にはどのような内容のセミナーが必要か。

SA: マネージメントと技術の両面があるが、まずはマネージメント面でのセミナーが必要である。マネージメントには金、物、人のマネージメントがあるが、マネージメント面の支援を通じ、農民の組織化さえ進められれば、技術面の指導はそれほど困難ではない。ただ実際の農民グループの構成員は多くは読み書きができず、支援活動も口答による説明に頼らざるを得ない。根本的にはこの辺から教育を行う必要がある。また生産の拡大のためには、マーケティング、パッケージング、プレゼンテーションの技術が必要である。

NBSSI Northern Regional Office

	訪問日時	8月15日(月)9:00～10:00	
訪問相手先	組織名	NBSSI Northern Regional Office	
	所在地	Tamale (Regional Coordinating Council 内)	
	出席者	Mr. Ishmail Ibrahim , Regional Manager, Mr. Mohammed Mahamood , Assistant Project Officer	
訪問者側	訪問者	調査団	小澤、池上 (同行:JICA ガーナ事務所 小林所員)
	入手資料		

－ 面談概要 －

調査団より本件開発調査の概要について説明し、NBSSI Northern Regional Office の機能についてのヒアリングと開発調査への参加についての意見交換を行った。

－ 先方発言要旨 －

NBSSI Northern Regional Office について

- Northern Region には Tamale BAC、Salaga BAC、Walewale BAC、Tolon BAC、Gambaga BAC、Damongo BAC の6つの BAC が存在する。Regional Office の主な機能はこれら BAC の活動の調整、統括である。
- BAC の活動の調整、統括以外には、District をまたがる広域のプロジェクト(内容不明)や、小規模ではあるがマイクロクレジット事業を実施している。BAC が行っている研修コースは Regional Office では実施していない。
- Regional Manager、Assistant Project Officer、Accountant、Secretary、Driver が配置されている。

BAC について

- 各 BAC では、Accounting や Management 等経営管理の研修と技術研修の両方を実施している。
- 技術研修は GRATIS や大学から講師を確保して実施している。
- 研修コースは基本的にニーズに対応しフレキシブルに設立している。
- BAC のない District については近辺の District の BAC がカバーしている。

Northern Region の産業について

- シアバターが女性グループによって活発に生産されている。NBSSI の活動規模は限られており、これらの女性グループに対して十分な支援活動は行えていない。

- ほかにもわずかではあるが Soya Bean の生産も行われている。

REDP について

- REDP に関しては、その存在は知っているが NBSSI は深くは関与していない。Planning Committee のメンバーとして対象製品の選定には協力した。

開発調査について

- (調査団からの協力依頼に対し) 積極的に協力したい。

Regional Technology Transfer Centre in Tamale (GRATIS)

	訪問日時	8月15日(月) 10:00～11:00	
訪問相手先	組織名	Regional Technology Transfer Center in Tamale (GRATIS)	
	所在地	Tamale	
	出席者	Mr. Kaleem Haruna, Regional Manager Mr. Ameh Atti, Workshop Manager	
訪問者側	訪問者	調査団	小澤、池上 (同行: JICA ガーナ事務所 小林所員)
	入手資料		

－ 面談概要 －

調査団より開発調査の概要を説明し、GRATIS RTTC in Tamale の活動内容をヒアリングするとともに開発調査への協力を依頼した。

－ 面談記録 －

Regional Technology Transfer Center の活動について

- ・ 主な活動は Agro-processing 機材の製造・供給と Agro-processing 技術の指導である。技術指導は現場で行っている。また NBSSI が実施している技術指導にも協力している。
- ・ 北部州はシアバター製造が盛んなため、クラッシャー・ロースター等、シアバター製造の工程に必要な一連の機材を製造している。機材の販売対象は主に農民グループ等の中小企業である。大企業に対しては契約ベースで大型機械を供給している。
- ・ Agro-processing 機材の製造以外にも、保健セクターの活動として病院の椅子の製造や、環境セクターの活動として固形廃棄物のコンテナ製造等も行っている。

開発調査について

- ・ GRATIS は JICA との良好な関係を今後も維持していきたいと考えている。開発調査についても積極的に協力する。

Tamale Business Advisory Center

	訪問日時	8月15日(月)11:00～12:00
訪問相手先	組織名	Tamale Business Advisory Center
	所在地	Tamale
	出席者	David Amos Andoh-Kesson, Manager of BAC
訪問者側	訪問者	調査団 小澤、池上 (同行:JICA ガーナ事務所 小林所員)
	入手資料	WORKPLANS FOR BACS, NORTHERN REGION 2005

－ 面談概要 －

調査団より開発調査の概要を説明し、BAC の活動内容についてヒアリングを行った。

－ 先方発言要旨 －

BAC の活動について

- Tamale BAC は Tamale District のほかに Savelugu Nanton, Gushiegu/Karaga, Yendi, Saboba、Chereponi、Zabzugu Tatale の6つの District をカバーしている。
- 実施している研修コースは WORKPLANS FOR BACS に記載のとおり。
- BAC の予算は NBSSI から支給されている。
- 研修受講者からは研修コストの30%分の参加費を徴収している。これは研修受講者の参加意識を高めるためである。
- 農民グループのリーダー等を研修の対象者としている。
- それぞれのコースの参加者は20～25名を設定している。
- マーケティングが重要な課題であり、バイヤーと生産者のコネクションづくりも行っている。

Women's Association with Christian Mothers Association

	訪問日時	8月15日(月)12:30~13:00
訪問相手先	組織名	Christian Mothers Association
	所在地	Tamale
	出席者	President of Women Association Members of Christian Mothers Association
訪問者側	調査団	小澤、池上 (同行:JICA ガーナ事務所 小林所員)
	入手資料	

－ 面談要旨 －

シアバター産業の現状に関するヒアリングを実施

－ 面談記録 －

現状について説明

- Christian Mothers Association の支援を受けシアバター製造を行っている。
- 原料のシアの実のピッキングは4~7月に行われており、土地の所有者である Chief of Village に利益の数パーセントを支払っている。
- 3か月前にアクラから来た仲買人(イギリスへ輸出)に販売したのを最後に買い手が現れず、在庫を抱えたまま生産をストップしている。マーケットさえあればいつでも生産できる状態にあり、マーケティングが最大の課題である。
- 生産しているシアバターの質については特に問題はないと認識している。
- 何らかの支援が受けられるのであれば、マーケットとのコネクションをお願いしたい。

The Africa 2000 Network -GHANA

	訪問日時	8月15日(月)14:00～15:00
訪問相手先	組織名	The Africa 2000 Network
	所在地	Tamale
	出席者	Mr. Tahidu Danda, Project Officer
訪問者側	調査団	小澤、池上 (同行:JICA ガーナ事務所 小林所員)
	入手資料	

－ 面談要旨 －

シアバター産業の現状に関してヒアリングを行う。

－ 面談記録 －

Africa 2000 Network の活動について

- ・ アフリカ11ヵ国で様々な活動を行っており、ガーナでもすべての州で活動している。

シアバター関連の支援活動について

- ・ シアバター関連の事業には8年前から DANIDA の支援を受けて開始された。
- ・ 2000年以降4つの District において6つの研修/加工センターを建設し、農民にシアバターの製造場所を提供すると同時に縫製等の技術研修を実施している。
- ・ それぞれ30名程度から構成される数十の女性グループが支援の対象となっている。
- ・ 生産量、販売量ともに増加しており、現在もカナダ人の仲買人からトン単位での発注を受けている。
- ・ 製品の香りや色について改善の努力を行っている。
- ・ シアナッツ、シアバターともに、極力在庫を抱えないよう努力している。

シアバター産業の現状について

- ・ シアバターの販売価格は上下し、ピッキングシーズン(4～7月)には価格が落ちる。
- ・ 国内消費は主に食用である。

加工センター視察結果

- ・ 十数名の女性がシアバター生産を実施しており、加工機械があるにもかかわらず主な工程は手作業で行われていた。理由を確認したが明確な回答は得られなかった。また手作業で製造した場合と機械を用いた場合でどちらが品質がよいかについても質問したが、どちらもよいとの回答であり事実は不明。

Ministry of Trade and Industry / NBSSI

訪問日時		8月17日(水)10:00～11:00	
訪問相手先	組織名	Ministry of Trade and Industry / NBSSI	
	所在地	アクラ	
	出席者	MOTI Ms. Hon Gifty Ohene-Konadu Deputy Minister Mr. Seth Evans Addo, Chief Director Mr. Kofi Afresh Ishaque Nuhu, Principal Industrial Promotion Officer NBSSI Nana Dr. Baah Boakye, Executive Director Mr. Emanuel O. Lampty, Director Investment and Credit Mr. L.D Baeku, Director, Policy Planing, Monitoring and Evaluation	
訪問者側	訪問者	調査団	小澤、池上、(同行:JICA ガーナ事務所 小林所員)
	入手資料		

－ 面談概要 －

M/M 及び S/W Draft に係る協議

－ 協議概要

REDP と開発調査の関係について

MOTI: 本開発調査は REDP には貢献しないのか。

JICA: REDP を進めるための開発調査ではなく、広く地場産業振興を目的としたものである。しかしながら REDP が進められ、Cooperate Village Enterprise が開発調査の対象地域に設立された場合には、これをベーシックサーベイ調査対象及び Trial Program の支援対象から除外する訳ではない。

MOTI: 了解

Steering Committee のメンバーについて

MOTI: 関連省庁に確認する必要があるため、メンバーについては S/W 署名までに確定することとしたい。

JICA: 了解

Trial Program の対象産品について

MOTI & PSI: Ashanti Region については Palm Oil のみならず、Cassava Processing も高いポテンシャルがあるので対象として検討願う。

JICA: ミニッツ上で Palm Oil と Cassava Processing を併記し、どちらかを Phase 1 で選択することとする。

National Board for Small Scale Industry (2)

	訪問日時	8月17日(水)11:00~12:30
訪問相手先	組織名	NBSSI
	所在地	アクラ
	出席者	Nana Dr. Baah Boakye, Executive Director Dr. Jesse Osamensa Amuah, Deputy Executive Director Ms. Elizabeth Ngrei, Director Entrepreneurship Department Mr. O.Emanuel O. Lamptey, Director Investment and Credit Mr. L.D Baeku, Director, Policy Planning, Monitoring and Evaluation
訪問者側	調査団	小澤、池上
	入手資料	District Map

－ 面談要旨 －

調査団より各種情報、資料の提供、本格調査団に対する便宜供与を依頼。

－ 面談記録 －

便宜供与について

- 調査団のオフィスについては NBSSI 本部及び各 Regional Office のなかに確保する。活動状況に合わせ、BAC に Office を確保する場合もあり得る。

資料提供

- ガーナ全国の BAC における今年度の活動計画を後日提供する。
- その他、必要な情報は随時提供する。

UNIDO

訪問日時		8月17日(水)14:00～15:30
訪問相手先	組織名	UNIDO
	所在地	アクラ
	出席者	Mr. Akmel Prosper Akpa, Representative, UNIDO Mr. Jacob Ainoo- Ansah, Program Officer
訪問者側	訪問者	調査団 小澤、池上
	入手資料	The UNIDO-REDS MODEL

－ 面談概要 －

調査団より開発調査の概要、方針を説明し、先方から関連情報、助言を得た。

－ 面談記録 －

UNIDO の実施する REDS プロジェクトについて

- ・ NBSSIをC/Pとして Volta Region、Eastern Region、Western Region で実施した。フェーズ I が終了したところであり、フェーズ II の資金を提供できるドナーを探している状況にある。
- ・ 具体的な活動としては地域農民のキャパシティビルディングに重点を置いているが、これと合わせ Rural Bank に対し、農民組織向け融資に係るトレーニングも実施した。なぜなら Rural Bank が生産活動を行う農民組織に対する融資に習熟していないことが農民組織が融資を受けにくい一因となっているからである。REDS により多くの農民組織が実際に融資を受けており、市場の高い利率にもかかわらず非常に高い返済率が確保できている。

REDP について

- ・ REDP はフィージビリティに問題があると認識している。REDS プロジェクトを開始する際にも MOTI & PSI より REDP に協力する形の協力内容にするよう要請があったが断った。

開発調査について

- ・ REDS プロジェクトのフェーズ I で得られた知見は JICA の開発調査に活用できるものと思われる。本格調査実施の際には調査団に必要な情報を提供する。

